

## IVF-ETの適応

- ・ 卵管性不妊： 卵管閉塞、狭窄、周囲癒着など
  - ・ 男性不妊： 乏精子症、精子無力症など
  - ・ 免疫性不妊： 女性が抗精子抗体を有する場合
  - ・ 子宮内膜症性不妊
  - ・ 機能性不妊： 原因不明の不妊症
- 
- ・ 重篤な遺伝性疾患の着床前診断を行うためのもの  
IVF-ETの不妊治療以外への臨床応用  
(平成10年10月日産婦学会の見解)

## 体外受精-胚移植 (IVF-ET)

### 方 法

1. 過排卵刺激
2. 卵の採取
3. 精子の処理
4. 授精 (媒精) 1つの卵に対し、運動精子 5-10万
5. 培養 (約 48 時間)
6. 初期胚 (受精卵) の子宮内移植
7. 黄体期のサポート